



Dr.'s Message

いきいき健康術 第142回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『肺炎球菌ワクチン、受けていますか?』

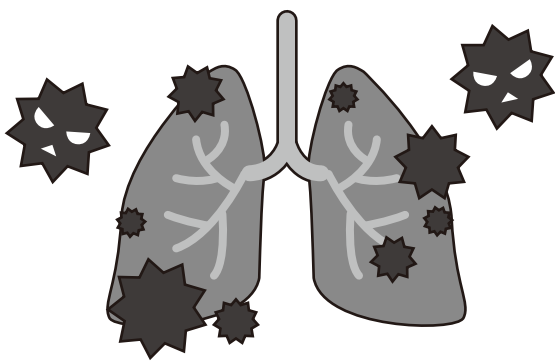
さがわ りさ 医師 和知診療所 (金曜日外来担当) 内科



★ 肺炎球菌 ★

肺炎は日本人における死因の第5位で、**入院が必要となったり命にかかわったりする病気**です。

日常の肺炎の原因のうち約30%は肺炎球菌という菌であり、特に**65歳以上では肺炎の原因として最も多い原因菌**です。



肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌ワクチンには2種類(ニューモバックス、プレベナー)あり、うち**ニューモバックスは、65歳以上で公費助成の定期接種**となっています。これらのワクチンにより**肺炎の発症や重症化を予防する効果が期待**できます。

肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)の定期接種について

2014年10月から定期接種が開始され公費助成は昨年度までの予定でしたが、**2023年度まで延長されることとなりました**。これまで接種した事がなく、該当する年度に**65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳**となる方は**公費助成の対象**となります。

ワクチンの副反応について

肺炎球菌ワクチンの接種後にみられる主な副反応には、痛み・赤み・腫れなど接種部位の症状や筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。これまで**他のワクチンで副反応が出たことがある方**や**不安な方は医師に確認**してください。

肺炎の発症や重症化を予防できるワクチン接種を受けましょう。
公費助成やかかりつけの医療機関で接種が可能かどうか一度確認してください。

